

前秋田県副知事

人口対策、真っ向勝負。

さるた和三 かずみ

覚悟を決めて、
やり抜く。

所得を増やす / 最低賃金目標を1.5倍に。

暮らしを守る / 物価高対策費を2倍に。

子どもを育む / 給食費・医療費・保育料を無料に。

[党派を超えて、さるた和三を応援しています。]



猿田、秋田を頼む。

元内閣総理大臣
衆議院議員

菅 義偉

猿田さんと会うたびに、私たちの“ふるさと秋田”の発展に情熱を注いでいる姿を目の当たりにしてきました。

秋田の皆さん、いま、秋田は洋上風力発電や農業、すぐれた教育による人材育成など、未来への大きな飛躍のチャンスを迎えています。そこに尽力してきたのが猿田さんです。

彼は永田町でも名が知られ、党派を問わず信頼されています。産業界をはじめとした県内外の方々との強い信頼関係、何より類まれなリーダーシップをフルに生かして、これからの秋田を力強くけん引していただきたいと思います。



力強くて、誠実。

衆議院予算委員長
衆議院議員

安住 淳

猿田さんを心から応援します。

私がNHK秋田支局に勤務していた時代から今に至るまで、彼の地道な努力と誠実な仕事ぶりには本当に感心していました。

野球を通じて鍛えた強い精神力とリーダーシップは目を見張るものがあります。

経験、実績、そして力強いリーダーシップを兼ね備えた猿田さんは、人口減少が続く秋田にとっての切り札です。

安心して暮らせる秋田を守り、次の世代につないでいくために、猿田さんが秋田を導いていくことを心から期待しています。



▲ 生まれ育った秋田市豊岩にて二人の兄と（中央）



▲ 慶応大学4年次には関東6大学リーグで優勝（中央）



▲ 日米大学野球選手権に日本代表主将として出場（左から1人目）

【私自身について】

秋田の農家に生まれ、野球と共に育ちました

私は、秋田市南西部の豊岩で、農家の三男として生まれました。近くを雄物川が流れ、太平山を望む田園集落。まさに秋田の原風景ともいえるような土地で、子どもやお年寄りを地域で見守り、育て、支える、穏やかで思いやりに満ちた地域でした。

もの心がついた頃には、既に二人の兄と一緒に野球に打ち込んでいました。いちばん上の兄が甲子園を決めた試合を観戦し、選手一人ひとりがチームの勝利のために全力を尽くす姿に強烈な感動を覚えました。甲子園出場が夢になったのはこのときです。その夢をくれた兄は60歳という若さで他界しましたが、今でも身近なヒーローとして尊敬しています。

豊岩中学校を卒業後、兄の背を追って秋田高校に進学。受験勉強は大変でしたが、兄と同じユニフォームを着て甲子園に出場したかったです。1学年下には、後にプロ野球で活躍し、今は参議院議員を務める石井浩郎さんもあり、共に野球に打ち込みました。3年では主将を任され、全員野球で甲子園出場を目指しました。高校最後の公式戦となった夏の県大会準々決勝、同点に追いついた9回2アウト2塁の場面、私は1球も振らずにフォアボールを選び、結果として

チームは延長戦で敗れ、夢は叶いませんでした。

押せ押せムードのなか、「なぜもっと積極的に向かえなかったのか」、「主将として責任を持つ覚悟が足りていなかったのではないか」、今でも胸に刺さるものはありますが、この場面に真剣に向き合ったことが、その後の人生の転機にもなりました。

大学野球、日本代表主将としての経験

その後、2年間の浪人を経て慶応大学に進学。舞台は東京6大学野球へと移りました。浪人中のブランクを取り戻そうとトレーニングに打ち込みましたが、練習中に左足首を骨折。レギュラーが見えはじめた3年春には持病の椎間板ヘルニアが悪化するなど怪我に泣かされた大学野球でしたが、「高校最後のあの打席で野球人生を終わりにするわけにはいかない」と治療と肉体改造に取り組み、3年次には首位打者を獲得、主将を任された4年次にはリーグ戦を優勝し、全国制覇も果たしました。

日米大学野球選手権では、後にプロ野球で活躍する古田敦也さん、野村謙二郎さん、長嶋一茂さんらがいるなかで主将を任されました。アメリカとの最終戦、1点を追う場面で回ってきた9回裏2アウト2塁3塁の場面、甲子園予選を思い出しました。結果は、3球目を振り抜いてサヨナラ本塁打。高校での後悔に向き合ってきたこと

が、最高の結果につながりました。

出迎えてくれたチームメートの笑顔は一生の宝物で、主将という重責をプレーでも果たすことができた経験は人生の土台にもなりました。そして、2018年に放送されたテレビ番組で、当時のチームメートだった長嶋一茂さんが、過大にも「人生で衝撃を受けた“天才”」として名前を挙げてくださいました。そのなかで、プレーと合わせてリーダーシップや人柄を評価していただき、とても光栄でその評価に恥じない人間にならなければならないと気持ちを新たにしました。

私は、中学校、高校、大学、全日本大学野球と、こと野球においては主将を務めてきました。「自分にその資質があった」、「人よりリーダーシップがある」などと思ったことはありませんが、主将として大切にしてきたことがあります。それは、「人の目にとまりにくい、目立たない貢献を大切にすること」、そして「嘘のない感謝をきちんと伝えること」です。これは、野球というチームスポーツから学んだ人生の教訓として、その後の人生でもずっと大切にしてきました。「自分は人に恵まれている」と思うことがありますが、この教訓がもたらしてくれているものだと思っています。

秋田に戻り、県庁職員として働く

大学卒業時には、プロ野球や大手企業という選択肢もありましたが、秋田に戻る選択をしまし

人口対策、真っ向勝負。

若者を惹き付ける働く場・産業の創出に真っ向勝負します。

企業誘致や再生可能エネルギーのさらなる強化、食料供給基地秋田の確立を確固たるものにします。

そして、各産業分野の事業者が、若者が望む安定感や成長力を持てるように、M&Aや経営革新など、事業者の大胆な取り組みを支援します。また、各産業分野での若者の革新的な事業への挑戦に過去最大の投資を行います。さらに、秋田の魅力を仕上げ、観光・文化・スポーツや二拠点居住、大規模イベント開催など、県民総参加のプロモーションで国内外から人を呼びます。国際的視野を身につけた秋田のこども達を育成することで、秋田への新たな人の流れをつくります。

所得を増やす

最低賃金目標を1.5倍に。

最低賃金目標を1.5倍にアップします。県内中小企業が物価上昇や賃上げ分を価格転嫁できる取り組みを進め、収益力・賃金向上スパイラルを実現します。人脈を活かし世界から人材が集まる企業を誘致します。企業の稼ぐ力の源泉である商品・サービス・技術の高品質化、生産性向上、DX推進やM&Aを通じた収益力の強化という基本政策をシフトアップします。

また、リスクリングなど個人の能力アップ支援、ライフスタイルに応じて働けるワークシェアリングなどの新たな仕組みをつくります。さらに、広大な農地や山林を次世代に引き継ぐかたちをつくり、温暖化対応農業、スマート農業、環境負荷低減農業などで先攻し、食料基地秋田を成長軌道に乗せます。



▲ 秋田のために働きたいという思いで県庁職員に



▲ 上場を目指すスタートアップ認定企業の皆さまと(右から4人目)



▲ 本県湯沢市出身の菅元総理と秋田のこれからを語る

た。時代は高度成長期。好景気に沸く日本経済、大企業だから用意できる大きな舞台に魅力はありましたが、「日本経済の礎には地方があり、ふるさとのために働きたい」という思いが強かったからです。私を育ててくれたのは秋田の水であり、空気であり、米であり、人であり、何より秋田のことが好きだったことがこの選択の基にありました。

当時、父が起業し、兄もそれを支えていました。その会社に入社するという選択もありましたが、私は仕事の舞台に秋田県庁を選びました。大学進学で県外に出た学生は、職種や条件の選択肢が少ないこともあって、秋田に戻りにくい環境がありましたし、いまだにそうした面があることは否めません。「県外に出て学んだこと、得た知識や技術を秋田で発揮できる環境をつくりたい」。これが秋田県庁を選んだ動機でした。

県庁では一兵卒から鍛えられ、基礎自治体である市町村の振興があってこそこの県政という姿勢で働いてきました。いまからちょうど30年前、阪神淡路大震災の際には、秋田県の支援隊の一員として現場支援に赴きました。野球で鍛えた体力に自信もありましたし、被災者のために何かしたいという思い一つでした。

そこで目の当たりにした大規模災害の脅威。建物の倒壊や火災。家族を失った住民の悲嘆にくれた表情、被災者を一生懸命に救出している消防・警察・自衛隊員、怪我人の手当てに奔走する医師や看護師、助け合い、励まし合う人々の姿を脳裏に焼き付け、防災・減災や非常時の

災害対応など、行政の基礎は住民の生命と財産を守ることだと、改めて思いを強くしました。

県政全般を把握して、産業振興で成果を

経験を重ねるなか、県政全般を把握しなければならぬ財政部門や秋田の発展を担う経済産業部門などでキャリアを積みました。財政部門では、予算や議会对応を通じて、暮らしや事業を支えるインフラ整備や環境、食を支える農林水産部門、健康を支え困ったときの支えになる福祉・介護サービス、文化振興、後に専門性を高める経済産業部門など、多くの事業に関わらせていただきました。

そして、2016年に産業集積課長に就いてからは、企業誘致活動や再生可能エネルギーの推進に尽くし、2016年以降の誘致企業数はそれ以前10年間の2倍以上に、2024年の再生可能エネルギー発電量は2016年から約2倍にまで増やすことができました。これは、決して私個人の実績ではなく、それまで関わった方々、県庁や市町村そして民間事業者の成果の現れですが、その一端に貢献できたことはうれしく思っています。

一県庁職員から副知事へ

2021年に副知事に指名いただいてからは、

「県民の安心も安全も、子どもたちの健やかな育ちや学びも、雇用や所得があってこそ」という信念の下、経済産業部門はもちろん農林水産部門、さらには県を挙げて取り組む人口減少対策に力を尽くしてきました。その結果、担い手不足が深刻であった農業分野において、2023年の新規就農者数を1989年以降最多の275人にまで増やすことができ、人の流入と流出の差である社会減を副知事就任前から約半分にまで減らすことができました。長年取り組んできた再生可能エネルギー分野においては、秋田は再生可能エネルギーの先進県になりつつあり、いまは約50万㎡規模の再エネ団地の整備を進めるまでになりました。そして、新たに取り組んだスタートアップ支援では、初年度の2024年に4社を認定、いずれも上場を目指して活躍いただき、県も引き続き支援しています。

いま、秋田は確実に変化しはじめています。未来につながる変化を確かなものにしていくために、県庁一丸、市町村を含む行政一丸、そして民間事業者の皆さまと一緒に、さらに県民お一人おひとりの力をお借りして、秋田一丸となって強い秋田をつくっていきたいと考えています。

次号では、さるた和三の主な実績とこれから目指す秋田、そのための政策を詳しくお伝えいたします。



暮らしを守る

物価高対策費を2倍に。

物価高対策費を2倍に増やし、暮らしを守ります。また、クマや特殊詐欺対策を緊急に実施します。医療・福祉・介護の業務のイノベーションと人材の育成・確保を進めてサービスの提供体制を盤石にし、秋田版ライドシェアなど地域交通確保の新システムをつくります。流域治水プロジェクトや地域防災体制づくりなどにより災害に負けない強い秋田、有事の際に地域住民が一致団結して対応できる体制をつくります。犬と猫の殺処分数ゼロを目指すとともに、ペット同行避難体制の整備などを進めます。あらゆる差別の解消を図り、多様な文化や価値観を受け入れ、互いに支えあう社会の形成を図り、多様性に満ちた社会づくりを推進します。

子どもを育む

給食費・医療費・保育料を無料に。

子育ての経済的負担を軽減するため、給食費・医療費・保育料を無償化します。また、どんな環境にあっても高等教育を受ける機会を得て、希望する進路に進めるよう、国が議論している高等教育無償化の推進や奨学金制度の拡充に取り組みます。さらに、困難な環境にある子どもたちにとっては、子ども食堂やフリースクールなどへの支援、障がいを持つ子どもへの支援拡充、社会問題になっているヤングケアラーへの支援など、誰一人取り残さない秋田をつくります。秋田は日本で最も少子化が進んでいるからこそ、生まれてきた子どもたちを日本一大切にす秋田県をつくります。



須田 精一

自分は長期にわたって県政とは深いつながりがあると思っています。秋田県電子工業振興協議会発足時には多大なるご支援をいただきました。猿田氏は佐竹知事の片腕として職務を全うされました。どうすれば秋田は良くなるのか、また本当の問題点は何かを一番認識されています。氏のリーダーシップは野球部主将を務めた学生時代から既に発揮されてきました。知事の役目は多岐にわたります。猿田氏が手腕を発揮し、活躍されることを期待します。



元関脇・豪風
押尾川 旭

猿田さんとは、お互いに体育会系ということで何事にも相通ずるところもあり、現役時代から大変親しくさせて頂きました。
また、県の実務や副知事の立場にありながら誰にでも謙虚な姿勢と、仕事に対する前向きさやそのスピード感には目を見張るものがあり、これからの秋田県のリーダーとして最も相応しい方だと確信しており、持ち前のリーダーシップと新たな視点で“ふるさと秋田”の未来を切り開いてください。



株式会社
男鹿ゴルフクラブ
代表取締役
千葉 玲佳

私は12年程前から父の跡を継ぎ、ゴルフ場経営に携わっています。猿田さんは、若くして事業継承した私へ、会うたびにエールや温かいお言葉をかけてくださいます。また、私は地域の観光力を高める“スポーツツーリズム”にゴルフ場としてできることはないかと模索してきましたが、様々な観点でアドバイスをいただきました。スポーツ発展への理解、女性活躍への高い意識を大変心強く思っています。新たなリーダーとして実力を存分に発揮していただきたい。頑張ってください！



ハバタク株式会社
代表取締役
シェアビレッジ株式会社
代表取締役
丑田 俊輔

ワクワクするビジョンと、それを社会実装する圧倒的なリーダーシップを期待しています。
未曾有の豪雨災害や熊被害をはじめとした自然界との共生、そして縮小しながら高齢化する社会をいかに持続可能で幸せなものにしていけるかは、秋田のみならず世界中の国や地域にとっての共通課題でもあります。人類未到の領域に挑む、いわば“スタートアップ”のような秋田県として、あらゆる垣根を越えて自由闊達に歩んでいけたらと願います。

一球入魂 語るた和三と語る会

入場 無料 / 申込 不要

一部手話通訳あり 手

全県25市町村で「語るた和三と語る会」を開催します。

日ごろの困りごとや秋田発展のアイデアなど、何でもお聞かせください。みんなで強い秋田をつくりましょう。

1/27 月曜日 15:00~	大潟村	大潟村村民センター 南秋田郡大潟村字中央1-16	2/9 日曜日 14:00~	秋田市	秋田キャッスルホテル★ 秋田市中通1丁目3-5
2/11 祝日 10:00~	藤里町	総合開発センター 山本郡藤里町藤琴字家の後14	2/11 祝日 14:00~	大館市	プラザ杉の子★ 大館市有浦1丁目7-55
2/14 金曜日 17:00~	鹿角市	交流センター 鹿角市花輪荒田1-1	2/15 土曜日 10:00~	羽後町	羽後活性化センター 雄勝郡羽後町西馬音内中野187
2/15 土曜日 13:00~	由利本荘市	アクアパル★ 由利本荘市北裏地54-1	2/15 土曜日 15:00~	にかほ市	スマイル にかほ市平沢字八森31-1
2/17 月曜日 17:00~	小坂町	セパーム 鹿角郡小坂町小坂砂森7-1	2/20 木曜日 17:30~	東成瀬村	ゆるるん 雄勝郡東成瀬村岩井川字東村72
2/24 祝日 10:00~	八郎潟町	環境改善センター 南秋田郡八郎潟町字大道81-1	2/24 祝日 13:00~	能代市	能代市文化会館★ 能代市追分町4-26
2/24 祝日 15:00~	八峰町	峰栄館 山本郡八峰町峰浜田中字野田沢20-1	2/25 火曜日 17:30~	潟上市	かたりあん 潟上市天王江川47-398
2/26 水曜日 17:30~	上小阿仁村	沖田面公民館 北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中278	3/2 日曜日 10:00~	男鹿市	男鹿市民文化会館 男鹿市船川港船川字海岸通り2-14-2
3/2 日曜日 14:00~	横手市	浅舞公民館★ 横手市平鹿町浅舞字覚町後140	3/2 日曜日 16:00~	大仙市 手	グランドパレス川端 大仙市大曲浜町7-39
3/3 月曜日 17:00~	湯沢市	湯沢グランドホテル 湯沢市材木町1丁目1-1	3/4 火曜日 17:00~	三種町	山本公民館 山本郡三種町森岳字町尻35
3/5 水曜日 17:30~	能代市 手	能代市文化会館 能代市追分町4-26	3/6 木曜日 17:00~	北秋田市	北秋田市民ふれあいプラザ 北秋田市花園町10-5
3/7 金曜日 17:30~	由利本荘市 手	アクアパル 由利本荘市北裏地54-1	3/8 土曜日 10:00~	美郷町	住民活動センター 仙北郡美郷町畑屋字街道東144
3/8 土曜日 13:00~	仙北市	角館交流センター 仙北市角館町中菅沢77-30	3/9 日曜日 10:00~	五城目町	町民センター 南秋田郡五城目町上樋口字堂社75
3/9 日曜日 13:00~	井川町	井川町公民館 南秋田郡井川町北川尻字海老沢樋ノ口79-2	3/10 月曜日 17:30~	横手市 手	横手かまくら館 横手市中央町8-12
3/11 火曜日 17:30~	大館市 手	プラザ杉の子 大館市有浦1丁目7-55	3/12 水曜日 18:00~	秋田市 手	秋田キャッスルホテル 秋田市中通1丁目3-5

★印のある語る会は「秋田の未来を語り合う女性のつどい」との同時開催です。女性はもちろん、どなたでもご参加いただけます。



公式サイトを
ぜひご覧ください。